

40周年を迎えて — 館長ご挨拶 —



もっと楽しい科学館に

2026年5月1日、浜松科学館は開館40周年を迎えます。前身となる浜松市児童会館から「浜松のモノづくり精神」は脈々とつながり、遠州広域の産業界の展示協力等で子どもたちに科学の楽しさを提供してきました。年間17万人以上の方が来館される中、当館の第3次中期計画のビジョン「自由に楽しみ『面白そう』があふれる広場」の実現に向け職員一丸となって取り組んでおります。40年前から浜松科学館に足しげく通って「科学する心」が芽生えた方が、このモノづくりの街浜松で活躍していただければとてもうれしいです。そして、浜松科学館は来るべきSociety 5.0における教育・人材育成構想に対応し、探究力や創造性を育む施設を目指して、これからも進化してまいります。

浜松科学館 館長 (2019-) **小田木 基行**

浜松科学館 40周年記念の取り組み

40周年記念式典

開催日時：2026年5月1日(金) 10:00～
会場：みらいーらステージ

40周年を記念した式典を開催します。終了後、ステージでの特別サイエンスショーも行います。

※一般の来館者は2Fから自由観覧いただけます



開館記念日 常設展入場料無料

開催日時：2026年5月1日(金) 9:30～17:00
対象：すべての方(市外の方も含む)

開館記念日である5月1日に、全ての方の常設展入場料を終日無料とします。来館の皆様オリジナルステッカーをお渡しします。

※プラネタリウムの観覧は別途料金が必要です



記念特別展示「浜松科学館の歴史」

開催日時：2026年5月1日(金)～5月31日(日)
会場：セミナールーム ほか

浜松科学館40年のあゆみを年表形式で展示します。浜松市や社会の変遷と合わせてご覧ください。



限定デザイン年間パスポート 販売

販売期間：2026年5月1日～2027年3月31日
価格：大人2,000円 高校生1,000円

過去の浜松科学館の写真が掲載された40周年オリジナルデザインの年間パスポートです。常設展入場が適用範囲です(発行から1年間使用可能)

※プラネタリウムの観覧は含まれません(観覧ごとに別途料金が必要)



40周年記念 オリジナルグッズ 販売

販売期間：2026年5月1日(金)～ 随時
会場：ミュージアムショップ

ロゴマークのピンバッジやイラストを使用した記念グッズなどを、定期的にミュージアムショップで販売します。



「みんなのこれまで、みんなのこれから」

募集期間：2026年6月2日(火)～(予定)
応募方法：ウェブサイト等から

科学館との思い出やこれからの未来に期待することなど、テーマ別の投稿を募集します。いただいた投稿は館内での展示を予定しています。



〈連携・関連企画など〉

- プラネタリウム番組「彗星と行く！太陽系一周ツアー！」(7/14～)
- ワークショップ総選挙(10月ごろ～)
- 春の特別展「40年の科学、そしてその先へ(仮)」(2027/3/20～)など



※各企画の詳細は浜松科学館ウェブサイトにて随時公開してまいります ※各企画は変更・中止になる場合があります



THANKS, AND CONNECT TO THE FUTURE.



浜松科学館 開館40周年

since 1986.5.1



〒430-0923 静岡県浜松市中央区北寺島町 256-3
TEL: 053-454-0178 FAX: 053-454-0184
E-Mail: info@mirai-ra.jp
www.mirai-ra.jp

浜松科学館

40周年記念事業についての
詳細はこちら



浜松科学館の沿革

浜松科学館は、浜松市を中心とする西遠地区広域市町村が田園都市中核施設整備事業として、心豊かで創造性のある青少年の育成を目指して建設されました。建設から40年が経過し、平成の大合併を経て、浜松科学館建設にともに携わった広域市町村は浜松市・湖西市の2市となりました。浜松市に科学館があることを待ち望んだ市民とともに、これからも歩んでまいります。

1984年

- 3月 西遠地区広域市町村圏協議会に（仮称）浜松科学館整備計画説明
- 5月 不発弾探査工事
- 8月 （仮称）浜松科学館起工式



1985年

- 9月 科学館シンボルマーク決定



1986年

- 3月 浜松市児童会館閉館。
24年間の総入館者数 2,457,787人
浜松科学館条例及び同施行規則制定
- 5月 建築・設備工事竣工
開館（1日）
高柳健次郎氏ほか 500名出席。
- 8月 1日から5日までの入館者数 23,457人
- 10月 入館者 10万人到達
- 12月 中部建築賞協議会から第18回中部建築賞を受賞



1988年

- 2月 入館者 30万人到達
- 4月 観覧料一部改定、中人（高校生）新設
- 11月 入館者 40万人到達

1989年

- 3月 浜松市から都市景観賞を受賞
- 5月 第18回全日本プラネタリウム
連絡協議会総会・研究集会開催
- 8月 入館者 50万人到達



1990年

- 7月 科学学習情報システム
「ヘイズ」導入式典開催



1992年

- 1月 静岡県教育委員会から「静岡文化施設」の表彰を受ける
- 2月 財団法人浜松電子工学奨励会から「三原色真空放電管」「イの字真空放電管」が寄贈される
入館者 100万人到達

1993年

- 4月 科学館ボランティア募集



1996年

- 4月 開館10周年記念式典開催



1997年

- 3月 特別企画展「人体博物館」開催 入館者 133,908人
- 8月 入館者 200万人到達

2002年

- 3月 科学学習情報システム更新
「ヘイズIII」導入
自動走行型ロボット「グリ夢ちゃん」
登場



2003年

- 4月 常設展小中学生入場無料化実施
- 7月 夏季休業期間の開館時間延長を本格実施（7月20日～8月31日）

2004年

- 11月 入館者 300万人到達記念式典開催

2005年

- 3月 財団法人浜松市文化協会解散
平成17（2005）年から新組織の財団法人浜松市文化振興財団へ科学館管理運営等が移行

2006年

- 3月 プラネタリウム機器更新：INFINIUM S（コニカミノルタ）+SKYMAX DS
- 4月 財団法人浜松市文化振興財団が指定管理を開始

2010年

- 3月 科学学習情報システム「ヘイズ」の更新
自律走行ロボット「ブルー夢」登場
小型展示案内端末「U4」、
「ブルー夢カード」を導入



2014年

- 3月 プラネタリウム更新：デジタル式プラネタリウム「SKYMAX DS II -R2(4K)」導入

2015年

- 4月 天野浩氏が名誉館長に就任
ノーベル賞公式レプリカメダル展示



2017年

- 3月 天野浩名誉館長特別講演会「世界を照らすLED」

2018年

- 1月 しばらくさようなら浜松科学館特別展「鉄腕アトムロボットと暮らす未来展」
- 4月 大規模リニューアルのため閉館

2019年

- 3月 乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体が指定管理業務を開始（～2028年度）
- 5月 科学館ボランティア募集（ボランティア制度一部改編）
- 7月 浜松科学館リニューアルオープン（6日）
愛称「みらいーら」公募により決定
科学学習情報システム - スマホアプリケーション「コンパス」の運用開始
- 8月 リニューアルオープン記念「天野浩名誉館長トークショー」「天野浩名誉館長特別実験教室」
2019年の全面リニューアル以降の常設展示入場者10万人到達
- 10月 浜松科学館第1次中期計画策定



2020年

- 3月 新型コロナウイルス感染予防対策のため臨時休館（3月3日～5月31日まで）
臨時休館中の学習コンテンツ「おうちDEみらいーら」(YouTube)を発信
- 7月 科学館（2019年の全面リニューアル後）常設展示入場者 20万人到達

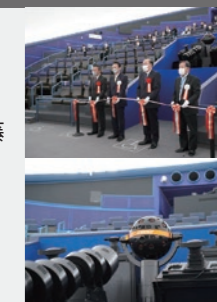


2021年

- 8月 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発出のため、ボランティア活動の休止（9月末まで）
- 10月 プラネタリウム機器老朽化のため、浜松市により機器更新実施。2月末まで放映休止。

2022年

- 3月 プラネタリウムリニューアル：
ケイロンIII・ハイブリッド（五藤光学研究所）
- 4月 浜松科学館第2次中期計画策定



2023年

- 2月 「令和4年度第2回全国科学博物館協議会及び第29回研究発表大会」を浜松科学館にて開催

2024年

- 1月 科学館（2019年の全面リニューアル後）常設展示入場者 70万人到達
- 10月 登録博物館認定（10月）

2025年

- 3月 第一期展示一部リニューアル
（みらいーらルーム、ワゴン展示新設）
第一期展示一部リニューアル記念式典
- 4月 浜松科学館第3次中期計画策定
- 8月 科学館（2019年の全面リニューアル後）常設展示入場者 100万人到達



2026年

- 5月 浜松科学館開館40周年記念式典（1日）

2027年

- 3月 第二期展示一部リニューアル
（「天野先生の研究室（仮）」、シンボル展示等）
第二期展示一部リニューアル記念式典（予定）